



CHAPTER 2

管理ソフトウェアの設定

この章では、システム管理ソフトウェアの設定方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「管理ソフトウェアについて」 (P.2-1)
- 「注意事項および制約事項」 (P.2-5)
- 「管理ソフトウェアの設定」 (P.2-5)
- 「設定の確認」 (P.2-10)
- 「設定例」 (P.2-12)
- 「その他の関連資料」 (P.2-13)
- 「管理ソフトウェア設定機能の履歴」 (P.2-14)

管理ソフトウェアについて

システム設定ルーチンに従うと、Cisco Nexus 1010 の次の情報を設定できます。

- 「管理者クレデンシャル」 (P.2-2)
- 「High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 冗長ロール」 (P.2-2)
- 「HA 冗長ステート」 (P.2-3)
- 「ドメイン ID」 (P.2-3)
- 「アップリンク」 (P.2-3)
- 「VLAN」 (P.2-4)

管理者クレデンシャル

システム ソフトウェアを設定する場合は、管理者パスワードを作成する必要があります。表 2-1 に、パスワード強度ガイドラインのリストを示します。

表 2-1 強力なパスワードのガイドライン

強力なパスワードの構成要素	強力でないパスワードの例
<ul style="list-style-type: none"> 8 文字以上 大文字 小文字 数字 特殊文字 <p>(注) クリア テキスト パスワードには、ドル記号 (\$) 特殊文字を含めることができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「abcd」などの連続した文字 「aaabbb」などの繰り返し文字 辞書にある単語 固有名詞

High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) 冗長ロール

Cisco Nexus 1010 は、ハイ アベイラビリティを実現するために冗長なペアで提供されます。デバイスを設定する場合に、ハイ アベイラビリティ ロール (プライマリまたはセカンダリ) を設定します。表 2-2 に、これらのロールの説明を示します。

表 2-2 HA 冗長ロール

ロール	説明
プライマリ	<ul style="list-style-type: none"> プライマリ ロールは、セカンダリ Cisco Nexus 1010 とアクティブまたはスタンバイ冗長ステートを調整します。 アクティブまたはスタンバイ冗長ステートをネゴシエートする場合は、ブートアップ中にプライマリ ロールが優先されます。つまり、ブートアップ時にセカンダリ Cisco Nexus 1010 がアクティブ ステートでない場合は、プライマリ Cisco Nexus 1010 がアクティブ冗長ステートになります。 プライマリ ロールを、デュアル システムで最初にインストールした Cisco Nexus 1010 に割り当てます。
セカンダリ	<ul style="list-style-type: none"> セカンダリ ロールは、プライマリ Cisco Nexus 1010 とアクティブまたはスタンバイ ステートを調整します。 セカンダリ ロールを、デュアル システムで 2 番目にインストールした Cisco Nexus 1010 に割り当てます。

HA 冗長ステート

表 2-3 に、HA 冗長ステートの説明を示します。

表 2-3 HA 冗長ステート

冗長ステート	説明
アクティブ	<p>システムを制御し、外部から見ることができます。</p> <p>アクティブシステムは、初期設定後にネットワークからリモートでアクセスされます。</p> <p>Cisco Nexus 1010 を管理するためのユーザ インターフェイスを使用できるのは、アクティブシステムだけです。</p>
スタンバイ	<p>設定をアクティブ Cisco Nexus 1010 のものと同期し、障害発生時や手動スイッチオーバーが必要な場合に設定を引き続き使用できるようにします。</p> <p>Telnet または Secure Shell (SSH; セキュア シェル) プロトコルを使用してスタンバイ Cisco Nexus 1010 と通信することはできません。</p> <p>スタンバイ Cisco Nexus 1010 はネットワークを介してアクセスできず、シリアルポートを使用してアクセスされます。</p> <p>Cisco Nexus 1010 を管理するためのユーザ インターフェイスは、スタンバイシステムから利用できません。</p>

ドメイン ID

プライマリおよびセカンダリ Cisco Nexus 1010 は、ドメイン ID を使用してお互いを識別します。Cisco Nexus 1010 は同じスイッチング ドメインに属し、同じ管理 IP アドレスを共有する必要があります。

アップリンク

サポートされた次の 4 つのアップリンク タイプのいずれかを使用してシステムをネットワークに接続できます。

- 1 つのアップリンク
- 共通の管理および制御トラフィックを持つ 2 つのアップリンク
- 共通の制御およびデータトラフィックを持つ 2 つのアップリンク
- 3 つのアップリンク



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

表 2-4 に、サポートされた 4 つのネットワーク アップリンク タイプと各タイプの Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) トラフィックを伝送するポートを示します。

表 2-4 ネットワーク アップリンク タイプ

アップリンク タイプ	管理 VLAN	コントロール VLAN	データ VLAN
1	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2
2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 3 ~ 6
3	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 6	ポート 3 ~ 6
4	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 4	ポート 5 ~ 6

アップリンクの詳細については、「アップリンク」(P.1-6) を参照してください。

VLAN

Cisco Nexus 1010 では、仮想サービス ブレードに対する管理と通信を行うために制御 VLAN と管理 VLAN が使用されます。これらの VLAN は、管理ソフトウェアの初期設定の一部として追加されます。制御 VLAN とパケット VLAN も作成された各仮想サービス ブレードに追加されます。管理 VLAN は、各仮想サービス ブレードによって Cisco Nexus 1010 から継承されます。

Cisco Nexus 1010 で制御 VLAN、パケット VLAN、または管理 VLAN を変更する場合、変更はすぐに反映されます。ただし、サービスの持続性のため、ホストされた Virtual Supervisor Module (VSM) で同じ制御 VLAN とパケット VLAN を設定する必要があります。このように設定しないと、Cisco Nexus 1010 が VSM との通信を失います。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「管理 VLAN」(P.2-4)
- 「コントロール VLAN」(P.2-4)

管理 VLAN

管理 VLAN は、Cisco Nexus 1010 の管理ポートに対するトラフィックを転送する VLAN です。仮想サービス ブレードがトラフィックの管理クラスを使用する場合、仮想サービス ブレードは Cisco Nexus 1010 から管理 VLAN を継承します。

管理 VLAN は外部から使用され、Cisco Nexus 1010 の管理 0 インターフェイスに到達します。Cisco Nexus 1010 とホストされた Cisco Nexus 1000V VSM は、同じ管理 VLAN を共有します。仮想サービス ブレードの作成時に設定された制御 VLAN とパケット VLAN とは異なり、管理 VLAN は Cisco Nexus 1010 がホストするすべての仮想サービス ブレードによって Cisco Nexus 1010 から継承されます。

コントロール VLAN

制御 VLAN は、冗長な Cisco Nexus 1010 間の通信に使用されるレイヤ 2 インターフェイスです。このインターフェイスは、ハートビートなどの下位の制御パケットと Cisco Nexus 1010 間で交換する必要があるすべての設定データを処理します。

注意事項および制約事項

Cisco Nexus 1010 の設定時にこれらのガイドラインおよび制約事項に従ってください。

- ドメイン ID は VLAN 内で一意である必要があります。
- 他の Cisco Nexus 1010 または Cisco Nexus 1000V が同じ VLAN に存在する場合も、ドメイン ID は全体で一意である必要があります。
- ソフトウェアの設定時に、使用しているシステムのアップリンク タイプを設定します。アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

管理ソフトウェアの設定

システムを適切に管理する管理ソフトウェアを設定する手順を次に示します。

- 「[プライマリ Cisco Nexus 1000V の設定](#)」 (P.2-5)
- 「[セカンダリ Cisco Nexus 1000V の設定](#)」 (P.2-9)

始める前に

ここで説明する手順を開始する前に、次のことを確認または実行しておく必要があります。

- Cisco Nexus 1010 ハードウェアがすでに設置されていること。詳細については、*Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Installation Guide* を参照してください。
- ターミナル サーバから Cisco Nexus 1010 に接続していること。
- この Cisco Nexus 1010 に対して次の情報が利用可能であること。
 - 管理者パスワード
 - HA ロール (プライマリまたはセカンダリ)
HA ロールを指定しない場合、ロールはプライマリとして設定されます。
 - ネットワーク アップリンク タイプ
 - コントロール VLAN ID
 - ドメイン ID
 - 管理 VLAN ID
 - 管理 0 IP アドレス
これは、アプライアンスで mgmt0 ポートとして現れる管理インターフェイスの IP アドレスです。
 - デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
 - SSH サービスの鍵タイプと鍵ビット数

プライマリ Cisco Nexus 1000V の設定

次のいずれかに対して管理ソフトウェアを設定する手順を次に示します。

- 冗長 HA ペアのプライマリ Cisco Nexus 1000V
- 単一の Cisco Nexus 1000V

手順の詳細

ステップ 1 画面の指示に従って、管理者パスワードの入力と確認を行います。

例：

```
---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

ステップ 2 画面の指示に従って、HA ロールを入力します。ロールを指定しない場合は、プライマリが割り当てられます。

例：

```
Enter HA role[primary/secondary]: primary
```

ステップ 3 画面の指示に従って、アップリンク タイプを入力します。



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

例：

```
Enter network-uplink type <1-4>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
1
```

ステップ 4 画面の指示に従って、制御 VLAN の VLAN ID を入力します。

例：

```
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 300
```

ステップ 5 画面の指示に従って、ドメイン ID を入力します。

例：

```
Enter the domain id<1-4095>: 300
```

ステップ 6 画面の指示に従って、管理 VLAN の VLAN ID を入力します。

新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同一になります。

例：

```
Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 233
Saving boot configuration. Please wait...
```

```
[#####] 100%
```

```
---- Basic System Configuration Dialog ----
```

```
This setup utility will guide you through the basic configuration of the system. Setup
configures only enough connectivity for management of the system.
```

```
Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime to skip the remaining
dialogs.
```

ステップ 7 基本設定ダイアログボックスの入力を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例：

```
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
```

```
---- Basic System Configuration Dialog ----
```

```
This setup utility will guide you through the basic configuration of  
the system. Setup configures only enough connectivity for management  
of the system.
```

```
*Note: setup is mainly used for configuring the system initially,  
when no configuration is present. So setup always assumes system  
defaults and not the current system configuration values.
```

```
Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime  
to skip the remaining dialogs.
```

ステップ 8 別のログインアカウントの作成を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例：

```
Create another login account (yes/no) [n]: no
```

ステップ 9 読み取り専用 SNMP コミュニティ スtring の設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例：

```
Configure read-only SNMP community string (yes/no) [n]: no
```

ステップ 10 読み取りと書き込み SNMP コミュニティ スtring の設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例：

```
Configure read-write SNMP community string (yes/no) [n]:
```

ステップ 11 アプライアンスの名前を入力します。

例：

```
Enter the VSA name [Nexus1010]:
```

ステップ 12 アウトオブバンド管理の設定を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えて管理 0 IPv4 アドレスを入力します。

これは、アプライアンスで **mgmt0** ポートとして現れる管理インターフェイスの IP アドレスです。

例：

```
Continue with Out-of-band (mgmt0) management configuration? [yes/no] [y]: yes  
Mgmt0 IPv4 address: 10.78.109.67
```

ステップ 13 デフォルト ゲートウェイ の設定を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例：

```
Configure the default-gateway: (yes/no) [y]: yes  
IPv4 address of the default gateway : 10.78.109.65
```

ステップ 14 拡張 IP オプション の設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

例：

```
Configure Advanced IP options (yes/no)? [n]: no
```

ステップ 15 Telnet サービスの有効化を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。

例：

```
Enable the telnet service? (yes/no) [y]: yes
```

ステップ 16 SSH サービスの有効化を確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えて鍵タイプと鍵ビット数を入力します。

例：
 Enable the ssh service? (yes/no) [y]: **yes**
 Type of ssh key you would like to generate (dsa/rsa) : **rsa**
 Number of key bits <768-2048> : **1024**

ステップ 17 NTP サーバの設定を確認するメッセージが表示されたら、**no** と答えます。

設定の概要が表示されます。

例：
 Configure NTP server? (yes/no) [n]: **no**

The following configuration will be applied:
 Switchname n1010
 interface Mgmt0
 ip address 172.28.15.152 255.255.255.0
 no shutdown
 telnet server enable
 ssh key rsa 1024 force
 ssh server enable
 svcs-domain
 control vlan 260
 domain id 152

ステップ 18 次のいずれかを行います。

- 設定を編集しない場合は、**no** と答えて次のステップに進む。
- 設定を編集する場合は、**yes** と答えて**ステップ 8**に戻り、各コマンドを再度実行する。

例：
 Would you like to edit the configuration? (yes/no) [n]:**no**

ステップ 19 この設定を使用および保存するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、**yes** と答えます。



注意

この時点で設定を保存しないと、次回スイッチをリブートしたときに変更内容が設定に反映されません。**yes** と入力して新しい設定を保存します。これによって、キックスタートイメージとシステムイメージも自動的に設定されます。

例：
 Use this configuration and save it? (yes/no) [y]: **yes**
 [#####] 100%

新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションが同一になります。



(注) EXEC モードで **setup** コマンドを入力すると、**ステップ 8**から**ステップ 19**で実行した設定を更新するセットアップルーチンをいつでも使用できます。セットアップが開始されたら、**Enter** キーを押してコマンドをスキップします。**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押して、残りのコマンドをスキップします。

ステップ 20 これで手順は完了です。

セカンダリ Cisco Nexus 1000V の設定

冗長ペアのセカンダリ Cisco Nexus 1000V に対して管理ソフトウェアを設定する手順を次に示します。

手順の詳細

ステップ 1 画面の指示に従って、管理者パスワードの入力と確認を行います。

例：

```
---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

ステップ 2 画面の指示に従って、HA ロールを入力します。

例：

```
Enter HA role[primary/secondary]: secondary
```

ステップ 3 画面の指示に従って、アップリンク タイプを入力します。



(注) アップリンク タイプを設定した場合、アップリンク タイプを変更するにはソフトウェアをリロードする必要があります。

例：

```
Enter network-uplink type <1-4>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
1
```

ステップ 4 画面の指示に従って、制御 VLAN の VLAN ID を入力します。

例：

```
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 300
```

ステップ 5 画面の指示に従って、ドメイン ID を入力します。

例：

```
Enter the domain id<1-4095>: 300
```

ステップ 6 画面の指示に従って、管理 VLAN の VLAN ID を入力します。

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しい設定は不揮発性ストレージに保存され、その後、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションが同一になります。
- ネットワーク アップリンクを設定するためにシステムがリブートします。
- システムが再起動し、プライマリ Cisco Nexus 1000V と設定を同期します。

例：

```
Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 233
Saving boot configuration. Please wait...
```

```
[#####] 100%
```

```
System is going to reboot to configure network uplinks
HA mode set to secondary. Rebooting now...
```

ステップ 7 これで手順は完了です。

設定の確認

Cisco Nexus 1010 の設定を確認するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-configuration	Cisco Nexus 1010 の実行コンフィギュレーションを表示します。 例 2-1 (P.2-10) を参照してください。
show system redundancy status	Cisco Nexus 1010 の冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。 例 2-2 (P.2-11) を参照してください。
show vs domain	Cisco Nexus 1010 の次のドメイン情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ドメイン ID コントロール VLAN ID 管理 VLAN ID 例 2-3 (P.2-11) を参照してください。

例 2-1 設定

次に、Cisco Nexus 1010 設定を表示および確認する例を示します。

```
Nexus1010# show running-config
version 4.0(4)SV1(3)
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role network-operator
username admin password 5 $1$ZMouammW$56jYJfpQuDJjDen5MABcW/ role network-admin
telnet server enable
ip domain-lookup
ip host Nexus1010 172.23.231.113
kernel core target 0.0.0.0
kernel core limit 1
system default switchport
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xb64ad6879970f0e57600c443287a79f0 priv 0x
b64ad6879970f0e57600c443287a79f0 localizedkey
snmp-server enable traps license
vrf context management
 ip route 0.0.0.0/0 172.23.231.1
switchname Nexus1010
vlan 1,231,233,280,300
vdc Nexus1010 id 1
 limit-resource vlan minimum 16 maximum 513
 limit-resource monitor-session minimum 0 maximum 64
 limit-resource vrf minimum 16 maximum 8192
 limit-resource port-channel minimum 0 maximum 256
```

```

limit-resource u4route-mem minimum 32 maximum 80
limit-resource u6route-mem minimum 16 maximum 48
network-uplink type 1

interface mgmt0
 ip address 172.23.231.113/24

interface control0
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mzg.4.0.4.SP1.0.171.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mzg.4.0.4.SP1.0.171.bin
boot kickstart bootflash:/nexus-1010-kickstart-mzg.4.0.4.SP1.0.171.bin
boot system bootflash:/nexus-1010-mzg.4.0.4.SP1.0.171.bin
svs-domain
 domain id 2801
 control vlan 300
 management vlan 233
 svcs mode L2

```

例 2-2 冗長ステート

```

switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:   Active with no standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Not present
switch#
-----

```

例 2-3 ドメイン

```

switch# show svcs domain
SVS domain config:
 Domain id:    3555
 Control vlan: 305
 Management vlan: 233
 L2/L3 Control mode: L2
 L3 control interface: NA
 Status: Config not pushed to VC.
switch#

```

設定例

次に、冗長ペアのプライマリまたは単一の Cisco Nexus 1000V に対する完全な設定の例を示します。

```

---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":

Enter HA role[primary/secondary]: primary

Enter network-uplink type <1-4>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
1
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 300
Enter the domain id<1-4095>: 300
Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 233
Saving boot configuration. Please wait...

[#####] 100%

      ---- Basic System Configuration Dialog ----
This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Setup configures only enough connectivity for management
of the system.
Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime
to skip the remaining dialogs.
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
Create another login account (yes/no) [n]:
Configure read-only SNMP community string (yes/no) [n]:
Configure read-write SNMP community string (yes/no) [n]:
Enter the VSA name : CPPAPrimary
Continue with Out-of-band (mgmt0) management configuration? (yes/no) [y]:
Mgmt0 IPv4 address : 10.78.110.111
Mgmt0 IPv4 netmask : 255.255.255.128
Configure the default gateway? (yes/no) [y]:
IPv4 address of the default gateway : 10.78.110.17
Configure advanced IP options? (yes/no) [n]:
Enable the telnet service? (yes/no) [y]:
Enable the ssh service? (yes/no) [n]: yes
Type of ssh key you would like to generate (dsa/rsa) : rsa
Number of key bits <768-2048> : 1024
Configure the ntp server? (yes/no) [n]:
The following configuration will be applied:
switchname CPPAPrimary
interface mgmt0
ip address 10.78.110.111 255.255.255.128
no shutdown
vrf context management
ip route 0.0.0.0/0 10.78.110.17
telnet server enable
ssh key rsa 1024 force
ssh server enable
Would you like to edit the configuration? (yes/no) [n]:
Use this configuration and save it? (yes/no) [y]:
[#####] 100%
System is going to reboot to configure network uplinks

```

次に、冗長ペアのプライマリまたは単一の完全な設定の例を示します。Cisco Nexus 1000V の冗長ペアのセカンダリに対する完全な設定の例を示します。

```

---- System Admin Account Setup ----
Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":

Enter HA role[primary/secondary]: primary

Enter HA role[primary/secondary]: primary

Enter network-uplink type <1-4>:
  1. Ports 1-2 carry all management, control and data vlans
  2. Ports 1-2 management and control, ports 3-6 data
  3. Ports 1-2 management, ports 3-6 control and data
  4. Ports 1-2 management, ports 3-4 control, ports 5-6 data
1
Enter control vlan <1-3967, 4048-4093>: 459
Enter the domain id<1-4095>: 459
Enter management vlan <1-3967, 4048-4093>: 460
Saving boot configuration. Please wait...
[#####] 100%
System is going to reboot to configure network uplinks
HA mode set to secondary. Rebooting now...

```

その他の関連資料

システムレベルの HA 機能の実装に関連した追加情報については、次のセクションを参照してください。

- 「関連資料」 (P.2-13)
- 「標準規格」 (P.2-13)
- 「RFC」 (P.2-14)

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
仮想サービス ブレードの設定	「仮想サービス ブレードの設定」 (P.4-1)
Cisco Nexus 1010 の設定	「アップリンクの設定」 (P.3-1)
Cisco Nexus 1010 のインストール	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Installation Guide』
Cisco Nexus 1010 コマンド	『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.0(4)SP1(1)』

標準規格

標準規格	タイトル
この機能でサポートされる新規または改訂された標準規格はありません。また、この機能による既存の標準規格サポートの変更はありません。	—

RFC

RFC	タイトル
この機能でサポートされる RFC はありません。	—

管理ソフトウェア設定機能の履歴

ここでは、管理ソフトウェア設定のリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
ソフトウェアの設定	4.0(4)SP1(1)	この機能が導入されました。